

別記様式 1

「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」参加申込書

平成 年 月 日

事業者名

代表者名（役職、氏名（ふりがな））

住 所

電話番号

実施要領7の（1）に基づき、別添の出品調査書を添えて、「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」に申し込みます。

飼料用米を活用した 畜産ブランド名 (畜種・ブランド名)	
------------------------------------	--

「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」 出品調査書

【各項目の記載は、畜産農家が既に連携している飼料用米生産農家や実需者等と取り交わしている契約書や取引実績等を元に記載願います】

1. 畜産経営の概要

(1)	事業者名	
(2)	住所	

※生産部会や協議会で取組んでいる場合は、その組織名で記載願います。

2. 畜産経営の種類及び米活用畜産物ブランド名

(1)	畜産経営の種類	
(2)	米活用畜産物のブランド名	

※(1)の畜産経営の種類は、養豚(肥育豚、母豚)、養鶏(採卵鶏、肉用鶏)、肉用牛(繁殖牛、肥育牛)、酪農(搾乳牛)、その他()を記載願います。

※(2)の米活用畜産物のブランド名は既に販売しているものであり、また複数の畜種を総称するブランドの場合や個々の畜種でブランド名が違う場合など、各々わかるように記載願います。

3. 国産飼料用米の活用状況(平成28年度)【応募資格】

(1)	米活用畜産物の年間飼料総量に占める 国産飼料用米の飼養割合(%)	
(2)	国産飼料用米の年間利用実績(トン)	
(3)	国産飼料用米の仕入れ先 ①地域(市町村名)、②農家又は農協等	
(4)	国産飼料用米の給餌状態(玄米又は破碎等)	
(5)	年間給与期間(開始月齢～終了月齢)	

※(1)の飼養割合(%)は、畜種別に採卵鶏5%、ブロイラー5%、養豚5%、乳牛3%、肉牛1%以上とする。

※(2)の国産飼料用米利用実績(トン)は、年間1トン以上とする。

※(3)の国産飼料用米の仕入れ先は、新規需要米取組計画書に基づく連携先(飼料用米農家)の情報を記載。

※(4)の給餌状況は、最終の形態の状況(玄米のまま又は玄米を破碎するなどの給与)を記載。

※(5)の年間給与期間の月齢は、日齢に変更可能とする。

4. 販路の確保(米活用畜産物の安定的な取引体制の構築)

(1)	畜産物ブランド商品名											
(2)	実需者と連携したプライベートブランド商品 ※(1)とは別にPB商品があれば記入											
(3)	主な販売先 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 市場</td> <td style="width: 50%;">カ 生協</td> </tr> <tr> <td>イ 百貨店</td> <td>キ 外食業者</td> </tr> <tr> <td>ウ スーパー</td> <td>ク インターネット</td> </tr> <tr> <td>エ 精肉店</td> <td>ケ 直販</td> </tr> <tr> <td>オ 農協(直売所含)</td> <td>コ その他</td> </tr> </table>	ア 市場	カ 生協	イ 百貨店	キ 外食業者	ウ スーパー	ク インターネット	エ 精肉店	ケ 直販	オ 農協(直売所含)	コ その他	
ア 市場	カ 生協											
イ 百貨店	キ 外食業者											
ウ スーパー	ク インターネット											
エ 精肉店	ケ 直販											
オ 農協(直売所含)	コ その他											
(4)	実需者と相対で事前に設定した販売価格についての取扱い (期中(1年間)での価格改定の有無)											





※①のブランド商品は既に販売しているものであり、また複数の畜種を総称するブランドの場合や、個々の畜種でブランド名が違う場合など、各々わかるように記載する。また、実需者との連携によりプライベート(PB)商品により他のものと差別化した商品がある場合は、その名称を記載願います。
 ※販売単価は、農家からの出荷価格とし、卸市場等を経由しない直接販売の場合は、その販売価格を記載願います。
 ※ブランド商品の主な販売先について、ア～コから選び、その割合を(%)で記載願います。
 (例:ア(35)、イ(30)、ウ(20)、エ(15))
 ※実需者との価格設定において、市況等に影響されずに1年間を通じて同じ価格なのか、それとも価格改定しているのか記載願います。

5. 耕畜連携の取組

(1)	①畜産農家と飼料用米農家との連携状況 ア. 27、28年度の仕入先の変更 イ. 飼料用米の仕入量の増減等	
(2)	②飼料用米以外の地域循環等の取組 (稲わら、堆肥、糞尿等)	

※(1)の①の飼料用米の仕入先を変更していない場合は「①変更無」、仕入拡大の場合は「②追加」、仕入変更は「③変更有」とする。
 ※(1)の②の仕入量の増減がない場合は「①増減無」、仕入増加・減少は「②増加」又は「③減少」とする。
 ※(2)の飼料用米以外の地域内での資源循環の取組があれば、その取組内容(種類・量、相手先など)を記載願います。

6. 付加価値の向上(飼料用米を活用した畜産物の販売増加)

		平成27年度(A) (年 月 ~ 年 月)	平成28年度(B) (年 月 ~ 年 月)
(1) 全体の畜産物	販売単価(円/kg)		
	販売数量(トン)		
	販売額 計		
(2) 飼料用米を活用した畜産物	販売単価(円/kg)		
	販売数量(トン)		
	販売額 計		
(3) うち、ブランド化された商品名などで販売しているもの	販売単価(円/kg)		
	販売数量(トン)		
	販売額 計		

※販売単価は、畜種毎に価格形成が違うため、畜産農家から出荷した段階での販売価格とし、販売額から販売数量を除いて算出。なお、小売や消費者等へ直接販売する場合はその価格を記載願います。(税込価格)

7. 飼料用米を活用した畜産物ブランド化に向けた対応

※本出品調査表に記載頂いた情報は、本表彰の選定審査のみに使用するものであって、他の目的に使用しません。
 また、公表に際しては事前に応募者への事前確認を経て対応致します。